

■光ファイバセンサ標準化部会

概要

光ファイバセンサの国際標準化は、IEC/TC 86/SC 86C/WG 2（ファイバオプティクス／光ファイバセンサ）で審議が進められ、1998年にIEC 61757-1として光ファイバセンサの「総則」がまとめられた。その後WG 2の活動は一時休眠状態となっていたが、2012年3月に開催されたIEC/TC 86/SC 86C/WG 1サントリーオビスポ会合でWG 2発足に向けた文書がドイツから提案され、2012年秋のTC 86ケレタロ会合からWG 2の活動が再開された。他方、国内にあってはTC 86は電子情報通信学会（IEICE）が審議団体を担当しているが、WG 2の活動に関しては、フィジビリティースタディを実施した当協会が2013（平成25）年度から、光ファイバセンサ専門部会をファイバオプティクス標準化部会傘下の専門部会として設置し、IEC/TC 86/SC 86C/WG 2の国内委員会（ミラーコミティ）としての活動を目的に、我が国の意見を国際規格作成に反映させるとともに、我が国の技術を積極的に国際標準として発信することに努めている。2022年4月には専門部会から標準化部会へと移行しJIS原案作成にも取り組んでいる。

部会開催予定(2024年度)

(4,5回/年度 開催予定)

(順不同)

参加メンバ
東京大学
特定非営利活動法人光ファイバセンシング振興協会
鹿島建設株式会社
株式会社フジクラ
元東京電力株式会社
沖電気工業株式会社
元産業技術大学院大学
Orbray株式会社
日本電信電話株式会社
東芝インフラシステムズ株式会社
古河電気工業株式会社
横河電機株式会社
lupo bianco
株式会社レーザック
国立研究開発法人土木研究所
経済産業省
アンリツ株式会社
古河電気工業株式会社
株式会社白山
一般財団法人日本規格協会
長野計器株式会社
日本電気株式会社
株式会社東光高岳